

☆公害による健康被害を許すな!
 ☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



たかさごゆりのタネ
 画・加納忠

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会
 〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
 内本町松屋ビル10 370号
 TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121
 E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
 URL http://oskougai.com/
 発行責任者 金谷 邦夫
 年間購読料一部2,000円(送料共)



「第45回公害環境デー大阪府民集会」が、2月4日(土)にエル大阪において200名を超える参加者で開催されました。午前中は、①「異常気象」がまねく「想定外」の災害に備えて「命をまもる」、②「パリ協定発効と日本の課題」、③TPPと環境・暮らし」の3つの分科会がもたれ、それぞれ、30名を超える参加者で、活発な報告と討論が行われました。内容は別記しています。

昼休みには、写真展示が二つ、飛田晋秀氏の「3.11の事故後の撮影、福島県民の思い」(展示世話人は滝本健氏)と、金谷邦夫会長の「チェルノブイリ視察 事故から30年後の状況は」、中村千恵子さんの「泉南アスベスト国賠の闘い」の絵巻展示(4巻)などが行われました。

午後の全体会は2部に分け、前半は「いま、あらためて原発を問う」のテーマで、4名の方から報告と訴えをしてもらいました。まず、金谷会長から開会のあいさつと「福島原発事故の現状と今後の課題」と題して基調講演をしていただきました。次いで、井戸謙一弁護士に「原発再稼働差止め訴訟」の特別講演をしていただきました。さらに特別報告として、白倉弁護士より「福島原発事故を原因とする損害賠償訴訟の現状と展望」の報告を受けました。これを受けて最後に原告団長の森松明希子さんから「原発賠償関西訴訟原告団の訴え」をしていただきました。

全体会の後半は「各課題・運動の報告」として、4名の方から訴え・報告を受けました。「ノーモアミナマタ近畿第二次訴訟原告団よりの訴え」を原

告団世話人の石山千津恵さん、「これからのアスベスト対策のたたかい」を大阪アスベスト対策センターの伊藤泰司氏、「公害患者をめぐる状況とたたかい」を大阪公害患者会連合会の上田敏幸氏、「ソラダス2016の報告(第8回府民による大阪NO₂いっせい測定と健康アンケート調査運動)」をソラダス2016実行委員長の西川榮一先生から、短い時間でしたがそれぞれ要点を分かり易く話されました。この後、会場から4人の発言と質問回答があり、最後にアピール文を一部修正して確認され、終了しました。感想文には、会場いっぱいの参加者の熱い思いと各講演・報告に「感動した」「力をもらった」という声が多くありました。